

令和元年度第4回中津川市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会次第

日 時 令和元年1月27日(月)15:00～17:00
場 所 中津川市役所4階 大会議室

開 会

あいさつ

議 事

1 委員会での主な意見に対する市の対応について【資料1】

2 中津川市まち・ひと・しごと創生総合戦略目標値の改訂案について【資料2】

その他

閉 会

中津川市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会委員名簿

(令和2年1月27日現在)

【順不同・敬称略】

	氏 名	所 属(役職)	
委 員 長	浅井 達雄	中京学院大学経営学部	特任教授
副委員長	成瀬 博明	中津川商工会議所	専務理事
副委員長	岩木 健	中津川北商工会	事務局長
委 員	石田 詔三	中津川青年会議所	副理事長
委 員	亀山 英孝	十六銀行中津川支店	支店長
委 員	大澤 満	中津川公共職業安定所	所長
委 員	前田 雅生	中津川市観光連絡協議会	会長
委 員	小栗 毅石	岐阜県立中津高等学校	進路指導主事
委 員	伊藤 昭嘉	岐阜県立中津川工業高等学校	教頭
委 員	小川 宏二	連合岐阜東濃地域協議会	副議長

委員会での主な意見に対する市の対応について

企業立地奨励事業（関連事業 企業誘致推進事業）**工業振興課**

委員会での主な意見	市の対応
・企業側からすると、補助金額だけでなく行政の許認可手続きの迅速さも立地の際の重要な判断材料である。市もそういったことに取り組むといいのではないか。 ・市外で新規投資を検討する経営者もいるため、それを引き留める動きも必要ではないか。 ・次期の計画においては、企業誘致やおもてなしといった観点で外に向かって取り組んではどうか。	・農振農用地や開発などの法令・許認可手続きに関し、工業振興課によるワンストップでの窓口対応を、所管課と連携し、これまで以上に迅速に行い、スピード感を持って取り組んでいきます。 ・市外への新規投資を含めた企業の増設計画について、企業からの相談時だけでなく、企業訪問等により、積極的に情報収集を行い、市外流出を抑制し、市内に立地していただくよう、関係各課と連携して取り組んでいきます。 ・立地動向調査結果において中津川市に興味を示した企業を訪問し、リニア中央新幹線岐阜県駅の設置による時間的距離の短縮、安価な地価、強固な地盤など、中津川市を積極的にPRし、市内への誘致活動を行ってまいります。

千年の森磨き上げ事業【林業体験機会の創出】**林業振興課**

委員会での主な意見	市の対応
・東海学園大学のような例を他にも広げて、中津川市のPRとして活用していくといいのではないか。	・域学連携担当部署と連携し活動を広げ、中津川市のPRの場として活用して行きたいと考えております。

馬籠ふるさと学校地域拠点化事業**生涯学習スポーツ課**

委員会での主な意見	市の対応
・利用率を上げるため、小中学校などへもっとPRすべきではないか。 ・学生、生徒の合宿など観光ハイシーズンでない時期のユーザビリティ向上も考えると、年間通じた利用が見込めるのではないか。 ・利用者アンケートを取り、今後の施設運営に生かしていくべきではないか。	・合宿利用率の向上に向け、小中学校等へPRできるよう、指定管理者と協議を行います。 ・冬季の利用について、外気温が氷点下となり館内の快適室温も維持することが難しい状況です。昨年も体育館用ストーブや仕切りカーテンを利用しましたが、利用者の満足のいく対応が出来ませんでした。今年度については指定管理者より提案があり12月から2月まで原則営業はしないことで決定しました。ただし、指定管理業務（学校内貸館、屋内アリーナ、総合グラウンド）の施設利用は条例に基づき実施します。 ・来年度以降については、指定管理者と協議をして冬季期間の有効利用できる方法を検討していきます。 ・より良い施設運営のために利用者アンケートの実施に向けて指定管理者と協議を行います。

・ホテル業の採算稼働率は、低くても 60% 程度となっている。少なくともそこを目指すべきではないか。 ・観光振興なのか、地域の拠点施設としての維持なのか、どちらを目指しているのか事業モデルを明確化すべきではないか。 ・当市では中心市街地を経由しないと、次の観光地へ行けないため、効率よく観光地を周れるネットワーク型のルートを考えるべきではないか。 ・指定管理料の算定について精査すべきではないか。 ・地域資源を活用するという観点で指定管理者を選ぶと効果的ではないか。	・目標値については、簡易宿泊における 3 年後の稼働率 60%を目指し、下記のとおり年ごとに段階的な稼働率に応じた目標値を設定して取り組んでいきます。 ・目標稼働率 - H30 年度 25.9%（実績） - R1 年度 40.0% - R2 年度 50.0% - R3 年度 60.0% ・社会教育施設としての位置付けであるため、地域の拠点施設として維持・運営を行います。 ・民間事業所のノウハウを導入した宿泊事業運営により、利用料金収入を増やして、市の指定管理料なしで維持管理できる体制を目指します。 ・そのため、さらなる利用者の増加に向けて指定管理者と効果的な P R 方法などを協議し、簡易宿泊の稼働率の上昇を目指して取り組んでいきます。 ・馬籠宿を拠点に少しずつですが交通ネットワークが広がりつつあります。リニア開業を見据え、二次交通の確立は必要と考えていますので、引き続き県や、交通事業者などと協議していきます。 <参考> ➤ 馬籠・妻籠と高山市・下呂市を結ぶ直行バス（H31.4.1～R1.9.30）濃飛バス ➤ 名古屋駅から馬籠・妻籠への直行バス（R1.10.1～R1.11.30）名鉄高速バス ➤ 中津川駅から苗木城跡までの直行バス（H30.9.1～H30.11.25、H31.4.6～R1.5.6、R1.9.1～R1.11.30、土日祝日運行）北恵那交通バス ・協定締結時に計画書を提出いただいております、前年度実績を考慮しながら精査をしていきます。 ・指定管理者選定委員会の意見も踏まえ検討してまいります。
---	--

空き店舗活用事業

商業振興課

委員会での主な意見	市の対応
・創業後の経営安定と事業活動の継続に対する支援が必要ではないか。 ・例えば「〇年後の事業活動継続率◇%」など補助金支給判断の妥当性について、指標を設定し確認してはどうか。 ・補助金を活用する場合は、地元商店街組織に入ることを求めていることで公共性の確保もできるのではないか。	・中津川商工会議所もしくは中津川北商工会において、今後の経営に対する指導を個別に受け、経営計画書を作成いただいております、それに基づいて、市と中津川商工会議所、中津川北商工会が連携してフォローアップを行ってまいります。 ・地元商店街への加入を条件に補助金を交付することは難しいですが、申請時に商店街組織もしくは地元から推薦書をいただいております、一定程度公益性を担保できているのではないかと考えております。

農産物販路拡大支援事業（事業名修正 旧：農産物等販売促進事業）**農業振興課**

委員会での主な意見	市の対応
・農産物新規販路開拓件数では事業効果を体現する指標になっていないのではないか。また、追加目標として新規参加団体数の掘り起こし数を設定してはどうか。その場合、どのように新規参加団体の掘り起こしを行うのか。 ・事業効果を測るため、売上個数や金額を把握できないか。 ・これまでの実績等を分析し、事業の有効性をPRできないか。	・販路拡大に対する指標として、イベント参加回数（延べ数）を指標とし、さらに、新規参加団体数（掘り起こし数）も計上するよう検討します。 新規参加団体の掘り起こしは、6次産業化認証農家などを対象として、制度説明を行いながら新規参加を促進します。 ・今年度から補助団体に、売上や販売数など報告を求めています。また、その実績を分析し、今後のPRに努めてまいります。

特産品販売促進事業**商業振興課**

委員会での主な意見	市の対応
・高山市だけではなく、他の総合商社と連携の可能性もあるのではないか。 ・小規模事業者の生産体制の強化や販路拡大への支援が必要ではないか。 ・ビジネスチャンスが利益に結びつくよう、課題の明確化が必要であり、もう少し幅広く横断的に動くといいのではないか。 ・大手スーパーに拘らずにネットや通販などで販路を開拓してはどうか。	・総合商社との商談会は今年度初めての試みでしたが、小規模事業者でもマッチできる部分が多く、今後は他の総合商社との商談会も積極的に進めていきます。 ・小規模事業者は販路拡大の意思があっても体制が整っておらず対応できない状況であり、今後は商品開発、生産体制の強化などを含めた幅広い支援を検討します。 ・今後はネットや通販も視野に入れて、小規模事業者のニーズに合わせた支援を検討していきます。

子育て支援センター運営事業（関連事業 子育て団体育成支援事業）**子ども家庭課**

委員会での主な意見	市の対応
・子育て支援センター利用率への目標値変更案について、センター利用者は複数の場所を使用することもあるが、そうでない人は存在自体知らない。利用率は、対象者のうち実際使用している人の数を捉える、カバー率を目標にしたらどうか。 ・子育て支援センターだけでなく、その他の子育てサークルなど子育ての孤独を解消するのに役立つサービスの利用者なども利用者を含めて利用率を算出した方が良いのではないか。	・ご指摘のとおり、カバー率が重要だと考えますので、利用率の把握にあたっては、未就園児の保護者を対象として、年1回子育て支援センターをはじめ、出張ひろば5か所、公立幼稚園・保育園への出張支援、子育て団体育成支援事業補助対象団体3団体（やさか地区、蛭川地区、阿木地区）における利用の有無についてアンケート調査を実施し、複数施設利用者についても1件とカウントすることで、重複のないように利用率を算出することとします。

中津川市まち・ひと・しごと創生総合戦略目標値の改訂案

基本目標	現行計画		改訂案	
	K P I（重要業績評価指標）	目標値	目標値（R 4）	備 考
しごとをつくる	市内事業所従業者数	35,000人	35,000人	【現行の目標値を維持】 [実績H24: 37,407人、H26: 35,580人、H28: 35,112人]
なかつがわに呼び込む	社会増減人口	80人転出超過	80人転出超過	【現行の目標値を維持】 [実績H26: ▲251人、H27: ▲387人、H28: ▲87人、H29: ▲261人、 H30: ▲208人]
結婚・出産・子育ての希望をかなえる	合計特殊出生率	1.8人	1.8人	【現行の目標値を維持】 [実績H26: 1.62、H27: 1.74、H28: 1.50、H29: 1.65]
地域をつくる・つなぐ、安心をつくる	暮らしやすいと思う市民の割合	73%	75%	【中期事業実施計画に合わせ、H30実績に対し5%以上の増加を見込み設定】 [実績H25: 68%、H30: 70.9%]
	誇りや愛着を感じる市民の割合	70%	85%	【中期事業実施計画に合わせ、H30実績に対し5%以上の増加を見込み設定】 [実績H25: 65%、H30: 77.4%]

目標値の見直しの基本的な考え方

①現行の目標値の算出根拠を維持する ②実績を踏まえ、算出根拠を変更する ③指標そのものを変更、新規追加する

基本 目標	事業名		現行計画		改訂案		備考
			K P I（重要業績評価指標）	目標値	K P I（重要業績評価指標）	目標値（R 4）	
しごとをつくる	1	地元就職情報配信事業	新規学卒者の市内事業所への就職者数	1,250人 [250人×5年]	現行と同じ	2,000人	累計実績941人(R1目標達成率 75%) [H27:235、H28:189、H29:238、H30:279] R4目標値算出根拠 (R1目標値1,250人+250人×3年) 【H27～H30の平均235人のため現行の目標値を維持し250人/年とする】
	2	産業事情視察支援事業					
	3	【削除】ふるさと企業UIJターン奨励事業 (H29事業終了につき削除)					
	4	キャリアカウンセラー設置支援事業					
	5	【削除】人材再雇用促進事業 (H29事業終了につき削除)					
	6	【削除】インターンシップ支援事業 (H29事業終了につき削除)					
	7	すご技中津川プロジェクト事業					
	8	企業の認証取得支援事業					
	9	木材関連産業人材確保事業					
	10	産業人材確保プロジェクト事業					
	11	【変更】地元高校生を含めた域学連携拠点づくり事業 ⇒域学連携事業 (拠点づくりが完了したため、事業名を変更)					
	12	【変更】就職面接会・企業説明会開催事業 ⇒企業説明会開催事業 (企業説明会に統一するため、事業名を変更)	就職面接会・企業説明会開催事業による若者の市内再就職者数	135人 [15人×1年:H27] [30人×4年:H28～R1]	【変更】企業説明会開催事業による若者の市内再就職者数	225人	累計実績105人(R1目標達成率 78%) [H27:20、H28:21、H29:39、H30:25] R4目標値算出根拠 (R1目標値135人+30人×3年) 【H27～H30の平均26人のため現行の目標値を維持し30人/年とする】
	13	新たな働き方創出プロジェクト	テレワーク登録者数	30人	現行と同じ	45人	R4目標値算出根拠 (R1見込30人+5人×3年) 【在宅ワーク者をR2～R4年で15人増加】
	14	勤労者総合支援センター運営事業	勤労者総合支援センターの取り組みによる就職率	45%	現行と同じ	45%	実績47.4%(R1目標達成率 105%) [H27:39.5、H28:42.6、H29:38.6、H30:47.4] R4目標値算出根拠 【H27～H30の平均42%のため現行の目標値を維持し45%とする】
	15	子育てママ就労支援事業	勤労者総合支援センター相談件数	664件/年	現行と同じ	600件/年	実績479件[H30](R1目標達成率 72%) [実績:H28:584、H29:584、H30:479、平均549] R4目標値算出根拠 【無料職業紹介の件数を加算計上していたため、目標値を再設定】

基本 目標	事業名		現行計画		改訂案		備考
			K P I（重要業績評価指標）	目標値	K P I（重要業績評価指標）	目標値（R 4）	
しごとをつくる	16	障がい児総合支援施設整備事業・働く家族を助ける就労支援事業	障がい児総合支援施設の整備により就労が可能となる保護者の数	60人	現行と同じ	75人	実績45人[H30]（R1目標達成率 75%） R4目標値算出根拠 【施設利用者数の上限が75人であるため】
	17	小規模事業所後継者育成支援事業	事業継承件数	60件 [15件×4年:H28～R1]	現行と同じ	117件	累計実績51件（R1目標達成率 85%） [H28:14、H29:12、H30:25]
	18	地場産業支援事業					R4目標値算出根拠 （実績51件＋R1見込み15件＋17件×3年） 【H28～H30の平均17件のため17件/年とする】
	19	企業立地奨励事業	新規事業所設置件数（事業所設置奨励金新規支払件数）	12社 [2社×3年:H27～H29] [3社×2年:H30～R1]	現行と同じ	25社	累計実績13社（R1目標達成率 108%） [H27:0、H28:4、H29:5、H30:4] R4目標値算出根拠 （実績13社＋R1見込み3社＋3社×3年） 【委員会での検証結果を踏まえ3社/年とする】
			新規雇用者数（雇用促進奨励金支払件数）	62人⇒66人 [10人×3年:H27～H29] [16人×1年:H30] [20人×1年:R1] ※委員会での検証により上方修正	現行と同じ	178人	累計実績98人（R1目標達成率 158%） [H27:0、H28:22、H29:27、H30:49] R4目標値算出根拠 （実績98人＋R1見込み20人＋20人×3年） 【委員会での検証結果を踏まえ20人/年とする】
	20	企業誘致推進事業	—	—	【新規】本社、研究・開発機能等の新規立地・移転・増設件数	4社 （R4 累計で検証）	R4目標値算出根拠 （立地協定済2社＋2社）
	21	創業支援事業	新規創業件数	72件 [8件×1年:H27] [16件×4年:H28～R1]	現行と同じ	125件	累計実績61件（R1目標達成率 85%） [H27:7、H28:11、H29:15、H30:28] R4目標値算出根拠 （実績61件＋R1見込み16件＋16件×3年） 【H27～H30の平均15件のため現行の目標値を維持し16件/年とする】
	22	空き店舗活用事業	本事業による空き店舗活用件数	10件⇒15件 （R1 累計で検証） ※委員会での検証により上方修正	現行と同じ	30件	累計実績10件（R1目標達成率 100%） [H29:4、H30:6] R4目標値算出根拠 （実績10件＋R1見込み5件＋5件×3年） 【委員会での検証結果を踏まえ5件/年とする】
	23	千年の森磨き上げ事業[林業体験機会の創出]	林業体験者数	4,000人⇒5,500人 [H27～H30実績4,000人＋1,500人×1年:R1] ※委員会での検証により上方修正	現行と同じ	10,000人	累計実績4,064人（R1目標達成率 102%） [H27:527、H28:1,198、H29:1,090、30:1,249] R4目標値算出根拠 （R1目標値5,500人＋1,500人×3年） 【委員会での検証結果を踏まえ1,500人/年とする】

基本 目標	事業名		現行計画		改訂案		備考
			K P I（重要業績評価指標）	目標値	K P I（重要業績評価指標）	目標値（R 4）	
し こ と を つ く る	24	東濃桧と飛騨の杉の家づくり支援事業[広域連携事業・高山市]	東濃桧と飛騨の杉を使った住宅の新築件数	200棟 [50棟×4年:H28～R1]	現行と同じ	350棟	累計実績149棟(R1目標達成率 75%) [H28:39、H29:57、H30:53]
	25	地域木材需要拡大事業					R4目標値算出根拠 (R1目標値50棟+50棟×3年) 【H28～H30の平均49棟のため現行の目標値を維持し50棟/年とする】
	26	未利用木材活用事業	森林技術者数の維持	70人	現行と同じ	70人	70人[H30](R1目標達成率 100%) R4目標値算出根拠【現行の目標値を維持】
	27	地域産材製材促進事業	岐阜証明材推進制度登録事業者数の維持	49事業所	現行と同じ	49事業所	実績47事業所[H30](R1目標達成率 96%) R4目標値算出根拠【現行の目標値を維持】
	28	新規就農者総合支援事業	新規就農者数	15人 [3人×5年:H27～R1]	現行と同じ	24人	累計実績12人(R1目標達成率 80%) [H27:3、H28:3、H29:3、H30:3] R4目標値算出根拠 (実績12人+R1見込み3人+3人×3年) 【H27～H30の平均3人のため現行の目標値を維持し3人/年とする】
	29	【変更】農産物等販売支援事業 ⇒農産物販路拡大支援事業 (事業名を変更)	農産物新規販路開拓数 (※R1まで)	12件 [3件×4年:H28～R1]	【変更】農産物販路拡大支援事業によるイベント参加回数(延べ数) (※委員会での検証を踏まえR2から変更)	630回 [新規参加団体を年1団体確保] (R2:205、R3:210、R4:215)	イベント参加回数実績 [H27:157、H28:168、H29:235、H30:226] R4目標値算出根拠 【H27～H30の平均197回/年のため200回/年に、新規団体の参加見込み回数5回/年をプラスさせる】 ※H27～H30平均参加団体数10団体
	30	特産品販売促進事業	特産品取扱商談成立件数	22件	現行と同じ	52件	累計実績12件(R1目標達成率 55%) [H28:1、H29:5、H30:6] R4目標値算出根拠 (実績12件+R1見込み10件+10件×3年) 【委員会での検証結果を踏まえ10件/年とする】
な か つ が わ に 呼 び 込 む	31	地域体験住宅支援事業	本事業による移住定住世帯数	595世帯 [75世帯×1年:H27] [100世帯×1年:H28] [140世帯×3年:H29～R1]	現行と同じ	1,063世帯	累計実績503世帯(R1目標達成率 85%) [H27:75、H28:132、H29:141、H30:155] R4目標値算出根拠 (実績503世帯+R1見込み140世帯+140世帯×3年) 【現行の目標値を維持し140世帯/年とする】
	32	空き家情報バンク事業					
	33	移住定住中津川PR事業					
	34	ふるさとお帰り支援事業[多世代居住の推進]					
	35	中津川で暮らそう家賃補助事業					
	36	空き家再生リフォーム補助事業					
	37	東京圏からの移住支援事業					
	38	移住サポーター設置事業					

基本 目標	事業名		現行計画		改訂案		備考
			K P I（重要業績評価指標）	目標値	K P I（重要業績評価指標）	目標値（R４）	
な か つ が わ に 呼 び 込 む	39	地域若者定住推進事業	UIターン住宅居住若者世帯 の市内定着数	24世帯 (R1 累計で検証) [H27.8～R1]	現行と同じ	38世帯 (R4累計で検証)	累計実績22世帯(R1目標達成率 92%) [H27:6、H28:11、H29:3、H30:2] R4目標値算出根拠 (R1見込み24世帯+14世帯) 【R2～R4の退去予定世帯数18世帯×定着率8割＝14世帯】
	40	観光推進事業	観光入込客数	500万人	観光入込客数	515万人/年	実績456万人(R1目標達成率 91%) [H27:400、H28:460、H29:459、H30:456] R4目標値算出根拠 (R1見込み500万人+5万人×3年) 【岐阜県の総合戦略における観光入込客数は3年間で約1%の増加を目標としている。当市においては、観光振興に力を入れており、年1%(5万人)ずつの増加を目標とする】
	41	外国人観光促進事業					
	42	体験型観光推進事業					
	43	広域観光連携事業			【追加】宿泊者数 (周遊・滞在・宿泊型観光を 推進していくため新たに設 定)	15.1万人/年	R4目標値算出根拠 (R1見込み13万人+0.7万人×3年) 【市平均客室稼働率37%をリニア中央新幹線開業時であるR9に 県の客室稼働率53%(18.6万人)を目指し取り組むため、0.7万人 /年×3年とする】
	44	【削除】馬籠集会所改修事業 (H29整備完了につき削除)					
	45	特産品販売促進事業(再掲)					
	46	馬籠ふるさと学校地域拠点化事業	馬籠ふるさと学校年間使用 料収入(※R1まで)	7,900千円⇒23,093千円 ※委員会での検証により上 方修正	4 地域をつくる・つなぐ、安 心をつくる (3)地域活動の推進(P8、 77番)へ移行	—	実績20,690千円[H30](R1目標達成率 262%)
			馬籠宿で宿泊する観光客数 (※R1まで)	3,940人⇒9,020人 ※委員会での検証により上 方修正	【統合】(R2～観光のKPI宿 泊者数へ統合)	—	実績6,935人[H30](R1目標達成率 176%)
結 婚 ・ 出 産 ・ 子 育 て の 希 望 を か な え る	47	結婚相談事業	支援活動によるカップル誕 生組数	42組(R1 累計で検証)	現行と同じ	66組	累計実績34組(R1目標達成率 81%) [H27:5、H28:10、H29:11、H30:8] R4目標値算出根拠 (実績34組+R1見込み8組+8組×3年) 【H27～H30の平均8組であるため8組/年とする】
	48	ハッピーマリッジサイト運営事業					
	49	婚活セミナー・婚活パーティー事業					
	50	地域の結婚活動支援事業					
	51	新婚さんいらっしやい事業	本事業による新婚世帯の市 内定住	120世帯 [20世帯×2年:H28～H29] [40世帯×2年:H30～R1]	現行と同じ	240世帯	累積実績77世帯(R1目標達成率 64%) [H28:16、H29:29、H30:32] R4目標値算出根拠 (R1目標値120世帯+40世帯×3年) 【現行の目標値を維持し40世帯/年とする】

基本 目標	事業名		現行計画		改訂案		備考
			K P I（重要業績評価指標）	目標値	K P I（重要業績評価指標）	目標値（R 4）	
結婚・出産・子育ての希望をかなえる	52	特定不妊治療支援事業	特定不妊治療による妊娠成功者	106組 [20組×3年:H27～H29] [23組×2年:H30～R1]	現行と同じ	184組	累計実績92組（R1目標達成率 87%） [H27:20、H28:23、H29:23、H30:26] R4目標値算出根拠 （実績92組＋R1見込み23組＋23組×3年） 【現行の目標値を維持し23組/年とする】
	53	子育て支援センター運営事業	子育て支援センター設置数 子育て支援センター延べ利用者数	子育て支援センター設置数 2か所増[5か所→7か所] 子育て支援センター延べ利用者数 35,000人	【変更】子育て支援センター利用率 （※委員会での検証を踏まえ変更）	50%	実績42%[R1] R4目標値算出根拠 （実績42%＋8%/3年） 【未就園児の保護者を対象とした子育て支援センター等の利用に関するアンケート結果（42%）から毎年3%程度増加】
	54	子育て団体育成支援事業					
	55	ファミリーサポートセンター運営事業			【追加】子育て環境、支援の満足度	57%	実績50.9%[H30] R4目標値算出根拠 【中期事業実施計画に合わせ、H30実績に対し5%以上の増加を見込み設定】
	56	放課後児童クラブの整備・運営事業					
	57	病児・病後児保育事業					
	58	子育てなんでも相談窓口事業					
	59	保育園待機児童ゼロの維持	年度当初保育園待機児童数（※0人の維持）	0人	現行と同じ	0人	実績0人（R1目標達成率 100%） [H27:0、H28:0、H29:0、H30:0] R4目標値算出根拠 【現行の目標値を維持】
	60	岐阜サマー・サイエンス・スクール(GSSS)事業	岐阜サマー・サイエンス・スクール(GSSS)受講生の満足度	100%	現行と同じ	100%	実績97%（R1目標達成率 97%） [H27:95、H28:95、H29:96、H30:97] R4目標値算出根拠【現行の目標値を維持】
	61	【削除】市内de留学事業 （H27事業終了につき削除）	—	—	—	—	—
	62	【削除】生徒会サミット事業 （KPIの達成に関連しない事業のため削除）	こころのプロジェクト 夢の教室 開催小学校数	95校 [19校×5年:H27～R1]	【変更】こころのプロジェクト 夢の教室実施率	100%	実績76校（R1目標達成率 80%） [H27:19、H28:19、H29:19、H30:19] R4目標値算出根拠【実施率に変更】
	63	こころのプロジェクト夢の教室事業					

基本目標	事業名		現行計画		改訂案		備考
			K P I（重要業績評価指標）	目標値	K P I（重要業績評価指標）	目標値（R 4）	
結婚・出産・子育ての希望をかなえる	64	すご技中津川プロジェクト事業(再掲)	すご技中津川プロジェクト 将来の就職先として本市を 選択肢の一つとして考える ようになった生徒の割合	83%	【変更】将来の就職先として 本市を選択肢の一つとして 考えるようになった生徒の 割合	83%	実績78%(R1目標達成率 94%) [H28:88、H29:79、H30:78] R4目標値算出根拠【現行の目標値を維持】
	65	ふるさと学習の推進					
	66	環境学習推進事業	幼児向け環境学習の実施 園数(主に年長)	16園	現行と同じ	20園/年	実績14園(R1目標達成率 88%) [H27:9、H28:9、H29:12、H30:14] R4目標値算出根拠 (R1見込み16園+4園) 【H27～H30の4年間で5園増加しているため、R2～R4の3年間で 4園増加とする】
			河川環境学習の実施校数 (主に4年生)	15校	現行と同じ	15校/年	実績13校(R1目標達成率 87%) [H27:16、H28:13、H29:15、H30:13] R4目標値算出根拠【現行の目標値を維持】
	67	中学2・3年生の35人相当学級導入事業	中学2・3年生の35人相当学 級の実施による保護者の満 足度	100%	現行と同じ	100%	[H29:100、H30:未実施] R4目標値算出根拠【現行の目標値を維持】
	68	高校生遠距離通学助成事業	高校生遠距離通学助成利 用保護者の満足度	96%	現行と同じ	96%	実績94%(R1目標達成率 97%) [H27:95、H28:95、H29:97、H30:94] R4目標値算出根拠【現行の目標値を維持】
	69	岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業認定支援事業	岐阜県ワーク・ライフ・バラン ス推進エクセレント企業認定 数	8社 [2社から8社へ6社増加]	現行と同じ	11社	累計実績6社(R1目標達成率 75%) [H27:0、H28:0、H29:3、H30:1] R4目標値算出根拠 (R1見込み8社+1社×3年) 【H27～H30の平均1社/年のため1社/年とする】
			岐阜県ワーク・ライフ・バラン ス推進企業登録数	131社 [5社増加/年]	現行と同じ	147社	実績127社(R1目標達成率 97%) [H29:121、H30:127] R4目標値算出根拠 (実績127社+R1見込み5社+5社×3年) 【現行の目標値を維持し5社/年とする】

基本 目標	事業名		現行計画		改訂案		備考
			K P I（重要業績評価指標）	目標値	K P I（重要業績評価指標）	目標値（R4）	
地域をつくる・つなぐ・安心をつくる	70	【削除】山口・坂下・川上地区、阿木地区地域情報システム(エリアトーク)設置事業 (H27事業完了につき削除)	地域情報システム(エリアトーク)のカバー人口	23,000人	—	—	実績22,747人[H27](R1目標達成率 98%)
	71	コミュニティバス運行事業	路線カバー人口	33,000人	現行と同じ	33,000人	実績31,142人(R1目標達成率 94%) [H27:32,643、H28:32,098、H29:32,031、H30:31,142] R4目標値算出根拠 [現行の目標値を維持]
	72	地域の特性を踏まえた地域の自主自立化	自立して地域活動を行う団体数	20団体	現行と同じ	35団体	累計実績14団体(R1目標達成率 70%) [H28:0、H29:5、H30:9] R4目標値算出根拠 (R1目標値20団体+5団体×3年) 【H28～H30の平均5団体/年のため5団体/年とする】
	73	【統合】集落支援員事業 ⇒地域の特性を踏まえた地域の自主自立化へ統合					
	74	【統合】地域おこし協力隊事業 ⇒地域の特性を踏まえた地域の自主自立化へ統合					
	75	女性の活躍支援	地域活動に取り組む女性団体数	20団体⇒25団体 ※委員会での検証により上方修正	現行と同じ	30団体	実績22団体(R1目標達成率 110%) [H27:16、H28:18、H29:18、H30:22] R4目標値算出根拠 (R1見込み25団体+5団体) 【H27～H30の4年間で6団体増加しているため、R2～R4の3年間で5団体増加とする】
	76	【変更】域学連携事業(再掲) (事業内容から「(3)地域活動の推進」にも位置付け)	—	—	【追加】域学連携交流人口	7,000人/年 (人/日の累計値)	実績 [H27:4,679、H28:4,819人、H29:6,191人、H30:6,705人] R4目標値算出根拠 【地域の受入体制を考慮し、7,000人とする】
	77	馬籠ふるさと学校地域拠点化事業(再掲) (事業内容から「(3)地域活動の推進」にも位置付け)	—	—	【変更】馬籠ふるさと学校利用者数(宿泊以外) 【社会教育施設としての観点において設定する】	25,000人/年	実績 [H27:21,229、H28:27,736、H29:23,925、H30:24,653] R4目標値算出根拠 【H27～H30の利用者の平均24,385人/年のため25,000人/年とする】
78	地域里山林整備事業	地域住民による年間里山林整備面積	4ha(R1 累計で検証)	現行と同じ	8.0ha (R4 累計で検証)	累計実績2.5ha(R1目標達成率 63%) [H29:2、H30:0.5] R4目標値算出根拠 【現行ではH29～R1の3年間で4haを目標としているため、同様に設定】	